

印西市シルバー人材センター

人生いきいき

会 報

第35号

令和4年(2022年)

1月号

発行

公益社団法人印西市
シルバー人材センター

〒270-1337

印西市草深924

TEL 0476-45-0468



浦部の神楽 (山本理事写真提供)

職員

○事務局

監事

理事

事務局長

常務理事兼

副会長

会長

○役員

本年もよろしく

お願い申し上げます

謹賀新年



小山 吉 紺 高 森 岡 山 伊
澤 森 川 野 橋 野 本 藤
江 津 夫 潤 彦 子 義 子 子 智 留 美

川 佐 奥 倉 山 鈴 村 高 荒 田 時 三
上 藤 山 松 本 木 形 嶋 野 畑 田 浦
育 良 茂 良 彰 節 富 一 和 徹
史 一 鈞 男 男 修 治 子 子 生 夫



新年の挨拶

会長 三浦 徹

謹んで新春のお慶びを申し上げます。
会員の皆様におかれましては、健康やかに新春を迎えられたことと、重ねてお慶び申し上げます。

さて、当シルバー人材センターで



年頭にあって

印西市長 板倉 正直

新年明けましておめでとうございます。

役員並びに会員の皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎

すが、令和三年度はコロナ感染問題が有るにもかかわらず、四月から十一月までに受注した仕事は一億四千八百万円で、対前年比百十四・五％と大きく伸長しており、当センター歴代二番目の事業実績を達成した平成二十九年度に肉薄する状況で推移しております。併せてここ数年減少傾向にあった会員数についても、三九三名から四二四名と、途中経過ではありますが順調に増加しております。

因みに、今期取り組み手法を大きく変えたことも有って、具体的には公共関係、民間企業関係、個人等全ての関係先からの受注が増えており、業種別に見ても、事業計画書で「中

えのこととお慶び申し上げます。また、旧年中はもとより、日頃から市政運営に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症の影響でイベント等の中止や延期を余儀なくされておりましたが、緊急事態宣言がようやく解除となり、活動も徐々に再開しております。そのような中、会員の皆様におかれましては、感染対策を継続しつつも長年培った知識と経験を活かし幅広く社会活動に参加し、地域社会を支えていただいていることに深く感謝申

す。核事業」と位置付け、特に注力している除草、植木剪定、清掃、障子・襖・網戸の張替えの各業務については、いずれも高い伸びを示し、当センター全体の牽引車になっております。

これもひとえに、会員さん職員さん理事さん方のご支援ご協力のおかげと感謝している次第です。

さらに、印西市役所様、企業様、市民の皆様方の多大なるご支援によるものと厚く御礼申し上げます。

一方、このように事業が順調に推移する中であって、昨年八月二十一日に就業中の会員がお亡くなりになったという痛ましい事故が発生したことは未だ記憶に新しいところですが、

申し上げます。

市では、二〇二二年度より「第八期印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画」がスタートし、「いきいき あんしん 生涯現役のまち 印西」を将来像として掲げております。高齢者の生きがいづくりや雇用促進の面で、シルバー人材センターが担う役割はますます重要となり、これからの地域づくりに皆様の力が欠かせないものと認識しております。市といたしましても、高齢者が生きがいをもち、住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らせる「地域包括ケア

安全対策面において大いに反省させられることとなりました。

今年は、会員の安全就業を最優先課題として明確に位置付けた上で、引き続き会員増強と就業先開拓を事業の二本柱として取り組みを強化し、市民や会員の皆さんのご期待に応えていきたいと考えています。

本年も当センター理事・職員一丸となって、これらに対処していく所存でおります。

会員の皆様には日ごろの健康管理と徹底した安全就業に留意され、本年も当センターへのご協力とご支援をお願い申し上げ新年の挨拶いたします。

システム」の構築に共に努めてまいります。

結びに、印西市シルバー人材センターの益々のご発展と会員の皆様にとりまして、新しい年が健やかで実り多き年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。



明けましておめでとうございます 今年も“いきいき”

令和3年 印西市功労表彰式典

当センターの会員3名が表彰されました。おめでとうございます！

昨年11月21日、文化ホールにて式典が行われました。

防犯防災功労表彰

粕谷 茂さん
鈴木 修さん

印西市教育委員会表彰

印西ふるさと案内人協会(市歴史文化の普及啓発)
当センターの山本良男さん(協会の副会長)が
出席されました。



いろいろな
場所で



いろいろな
仕事で



元気が
一番!!



会員の
みなさん
頑張っ
ています!!



2021/07/29

配分金の所得税の取扱いについて

シルバー人材センターで得た配分金収入等は、「雑所得」に区別されます。雑所得の金額は、原則として雑所得の総収入金額から必要経費を控除した額です。

① 配分金収入に係る必要経費の額が55万円以上ある場合は、配分金収入から必要経費の全額を控除できます。

② 必要経費の額が55万円未満の場合は、「租税特別措置法」第27条の適用により、55万円を上限として控除できます（ただし収入金額を限度とします）。

（注1）公的年金を受給している会員は、配分金収入とは別に公的年金等に控除を行えます。

（注2）給与収入がある場合は、最低55万円（ただし収入金額を上限とします）の給与控除が受けられますが、その場合、配分金収入に係る控除額は、55万円から給与所得を控除した残額が限度です。

※詳しくは成田税務署にお問い合わせください。

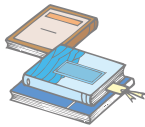
配分金には消費税が含まれていることをご存じでしたか？

センターが発注者に対して請求する配分金は消費税込み（内税方式）となっていますので、会員の皆さんが受け取る配分金にも消費税が含まれています。従って、本来会員の皆さんは、受け取った配分金にかかる消費税を税務署に申告納税する必要がありますが、実際には消費税法の定めにより、課税売上高が1,000万円未満の個人事業者（会員）については「免税事業者」となっていることから、納税義務が免除されています。

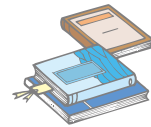
また前記のとおり、センターが発注者から受け取る配分金にも消費税が含まれていますが、会員の皆さんにお支払いする消費税との間で「仕入税額控除」が認められているため、当該消費税についてセンターにも納税義務はありません。

ところが、令和5年10月1日から始まる「適格請求書等保存方式（インボイス制度）」においては、免税事業者（会員）は適格請求書を発行できないとされていることから、センターにこれまで認められてきた会員との取引における「仕入税額控除」が認められなくなり、会員の皆さんにお支払いした消費税相当額の納税義務が発生することになります。

現在この金額を誰が負担するかについて、国を巻き込んで議論されています。どのような結論に至るかは現時点では不明ですが、会員の皆さんが受け取っている消費税に関して何らかの影響が出てくる可能性も否定できない状況にあります。詳細が決定次第改めてお知らせいたします。



会員の投稿コーナー



「青春の譜8」湧き水

会員 松澤 健治

転勤族の私は印西市に住むようになり、長年の望みであった富士の裾野のピッフェ美術館へアマチュア画家の家内と行った。二人とも大感激をして帰路についた。時間があつたのでタクシーの運転手に三島名物を尋ねると、即座に鰻と湧水が戻ってきた。富士の伏流水が年月を経て、山麓に突然湧き出て川を作っている。水の噴出しているところは、小さな綺麗な小石が水といっしょにおどりで上がつている。その回りを直径十メートル程のコンクリートで囲われ、のぞけるようになっていた。その水量の多さに、大自然の雄大な営みを感じ、私はただただ驚くのみだった。流れ出した水は想像以上の川幅となり海へ向かっている。これが万葉集にも歌われた柿田川と知ったのは後程だ。清流に近づくと、水草のバイカモが流れに身をまかせ美しく躍動している。その間を鮎が流れに向かって静止しているかと思うと、一転矢のように方向を変えるのを飽きずに見ていた。

一方料理の達人を自認する家内は三島の鰻に甚だしく感動していた。清流の鰻の味、香りは最高と満足していた。私もおいしかったが佐原や成田で食べた鰻の味と違いはわからなかった。家内はかねがね四国の四万十川の鰻を食べたいと言っていたが、その後言わなくなった。私も寝た子を起すようなその話題にはふれないようにしている。

早春、私の印西大師ウォーキングが始まる。眠っていた田越しが、田の上を黒く見せ、雑木林にっすらとミストグリーンが萌えだすと冷たい空気も心地良く、近づくと春が足元にやって来たと思える。田の間の水路に人影がみえたので「何をしているのですか」と問うと「芹を取っているのです」と返ってきた。若葉摘み、万葉の時代から続く光景は「あかねさす紫草野行き標野行き野守は見ずや君が袖振る」(額田王作)の和歌の世界を永々とこの地にも息衝いているのだと感じた。湧き水があるので、芹が生えるのだと農婦が指で示した。水道の蛇口程の水量で水が湧き出していた。富士の湧き水には比べられないが、ここにも自然の営みがあるのを知ると、印西にも古代から続く営みがあり、それを目の当たりにして無性にうれしくなった。野歩きの中に私の青春は今も続いています。

講習会を開催しました

市内在住の六十歳以上の対象に植木剪定講習会、接遇講習会、刈払機取扱講習会を開催しました。

また新会員の方へ障子・襖・網戸張替講習会を行い、皆さん就業しています。

十二月には会員を対象に刈払機取扱講習及び施設クリーンスタッフ講習を行いました。



接遇講習会



剪定講習会(垣根)



剪定講習会(立ち木)

お客様からのお言葉！

〇このたびは庭を大変すっきりとまた、きれいに伐採頂きましてありがとうございました。写真を送っていただき見ながえる庭になりました事お礼申し上げます。(植木剪定班)

〇襖とてもきれいにやっていただいていたてありがとうございます。(障子襖網戸班)

※その後網戸のご注文もいただきました。

〇夜遅い業務にも関わらず対応に感謝。丁寧に就業して頂きました。また、急な対応にも快く引き受けて頂き感謝しています。(ドックランの施設業務)

〇無遅刻、無欠席で大変助かっています。また調理の経験(資格もあり)もあり作業としても満足しています。(調理補助業務)

事務局より

(1) 安全就業をお願いします！

昨年は、当センター会員が就業中にお亡くなりになるという大変痛ましい事故を始め、会員本人の受傷や他人の財物を損壊したことによる賠償事故等、複数件の事故が発生しました。この中には、「安全就業のしおり」等で定められた予防策や防護柵を講じていなかったため発生したものも散見されると共に、幸いにも事故には至らなかったものの、ルールを守らず作業を行っている実態があることも明らかになっています。もちろんどんなに万全の対策を講じていても事故を完全に防ぐことは不可能ですが、少なくともセンターの仕事をする以上は、センターの決めたルールは遵守して頂きたいと思います。

今般「安全就業のしおり」の他「作業別安全基準」や「作業前に確認すべきルール」等、安全ルール全般の見直しを行いました。年末にお送りしました「安全就業のしおり」をご確認の上、安全就業のための一助にして下さい。「安全は全てに優先する」これを合言葉に全会員が一致団結して事故の無い一年にしていきたいものです。

(2) 就業会員募集しています。事務局までご連絡ください！

- ・ 家庭の掃除
- ・ 施設の清掃
- ・ 簡単な大工仕事や軽作業
- ・ 高齢者宅等のかたづけや電球交換などのお手伝い
- ・ 植木剪定作業
- ・ 除草作業

◎ 植木剪定・除草作業や清掃は、たくさんのご注文をいただいております。毎年数カ月お待ちいただく状況です。「家で庭木の剪定をしている」「刈払機を使ったことがある」「草取りは得意」など、興味のある方は事務局までご連絡ください。

(3) コロナフレイルを予防しましょう

新型コロナウイルス感染症の予防として外出自粛などを続けた結果、一気に老化が進む現象のことをいいます。感染に気を付けながら、適度に身体を動かしたいですね。シルバーでの就業をおして、コロナフレイルを予防しましょう。

※フレイルとは…?

加齢によつて心身が老い衰え、社会とのつながりが減少した状態。健康と寝たきりの間。今後注目の言葉です。

(4) 令和4年度講習会を企画しています

- ・ 障子・網戸張替講習会
- ・ 接遇講習会
- ・ 施設清掃講習会
- ・ 植木剪定講習会
- ・ 櫻張替講習会
- ・ 刈払機取扱講習会



(5) 元気に活躍しています

四月から入会された方は七十二名、退会者は四十一名、十一月末現在四十二名になりました。

男性会員は三十二名、女性会員は一〇三名です。最高齢は男性九〇歳、女性八十四歳です。

皆さん元気に活躍しています。

ご家族、お知り合いの方に、「一緒に働きましょう」とお誘いしてください。



原稿募集

テーマは自由です！
原稿をお待ちしています。
次号「人生いきいき」に掲載予定です。



編集後記

本年は寅年、トラはトラでも「五黄の寅」。酔客を大トラと称するのはご愛嬌。この年生まれは、特に気性が激しく、運勢が強い。(国語辞典引用) 陰陽道による伝承で丙午同様「迷信」。虎の厳しい生態・習性を転化したものでしょう。

「虎の尾を踏む」という言葉(草花の虎の尾ではない)があります。踏まないよう事務局では再三文書を発しています。外形的対策と軽視することなくしっかり理解し、規則を守る責任を自覚し、就業現場で実践しなければなりません。虎の尾を踏んだ要因が規則を無視したご自身にあれば会員としての資質が問われます。

社会では皆様の旺盛な知力・体力・気力を必要としています。結びに「一怒一老」と申します。ご活躍とともにおだやかな日々が続き、良き年となりますよう祈念いたします。

令和4年1月

広報委員会



広報委員会

時田 和夫
荒野 富子
高嶋 節子

